

視察レポート 先進地に学べ

# “学ぶ”⇒活かす議会に!!!

## 議会広報常任委員会

令和7年8月28日(木)～29日(金)

議会だより 読みたいくなる紙面づくり

Point

### 町村議会広報研修会に参加

### 埼玉県杉戸町での学び

Check  
1

#### インタビュー記事で 読まれる広報紙に

- 題材選び（住民参加イベント）
- 取材目的を明確に
- 良いレイアウトと文字数
- 目的にあった質問を準備
- 当日取材⇒一番良いところを採用
- 方言・独自の言い方を残す

Check

#### 紙面リニューアル →イメージ刷新

- 若者を意識したデザインで目を引く
- 新人議員が積極的に作成  
…表紙の対象者、撮影・構図など
- 毎号に町民登場カウンター
- インタビューは字体を変える
- 見開きA3ページで余白も活用
- 議会傍聴の感想を掲載
- 表紙にまつわるエピソードがある
- 議決に賛成反対答弁を  
名前入りで掲載
- 議会基本条例の制定を

Check  
2

#### スマホ活用の 撮影技術・動画作成

- 一人でもできる撮影ノウハウ
- インタビュー撮影技術
- 議会だよりの動画発信
- 議員の見える化
- QRコードでショート動画へ誘導

Check  
3

#### 議会活性化と連動した 広報紙作り

- 住民の政治参加をうながすツールに
- ネタは議会が作る⇒全戸配布
- 小規模自治体だからこその取り組み
- 委員負担の軽減、分担推進



### 視察を終えて

新人議員も毎回挑戦し、一般質問が10人を超える時がある。編集作業が従来の日程では組みなくなり、初めて印刷業者を交えての編集会議を行なった。パソコンや生成AIのおかげで作業日程の短縮が図れているが、議員手作りの温かみも残していきたい。

# 総務産業建設常任委員会視察 (令和7年10月16日～18日)

## (公財)東京都つながり創生財団

自治会活動を支援するため、行政と専門家で構成されたチームが、自治会のやりたい事や、困りごとを個別に聞き取り、事業の企画提案から実施までをトータルに伴走支援を行う事業説明を受け、意見交換を行なった。



多文化共生社会づくりと共生社会づくりを通じて「人」と「人」をつなぎ、地域コミュニティの活性化を支援する団体として、2020年10月1日に東京都により設立

地域コミュニティの再生や協働型のまちづくりを推進する上で、行政と民間が連携し、人のつながりを支える事が重要だとの意見があった。

## 平和祈念展示資料館 帰還者たちの記憶ミュージアム



展示資料説明の様子



引揚船の船底での様子

戦中・戦後の国民の歩みを記録し、次世代への継承を目的に学校教育連携や講話も実施されていた。戦争体験の風化を防ぐため、地域でも平和学習や語り継ぎの機会を大切にしていきたいと感じた。

## 厚生文教常任委員会視察 (令和7年10月29日～31日)



LPガス  
バルクシステム



体育館空調

愛知県清洲市  
GHP(ガスヒートポンプ)  
による体育館空調設備

清須市は2022年に、近年の災害的猛暑から児童・生徒を守り、避難所として良好な生活環境を確保するために災害に強いとされるLPガスを用いたGHP空調設備と発電設備を公立小中学校へ導入し、夏でも快適に体育館を利用できている。

また、全避難所に炊き出しができる設備や機材も揃えており、避難訓練の時には住民主体で炊き出し訓練も行なわれている。災害時の避難所運営においては住民の協力が不可欠であるため、日頃からこのような訓練をしているのは大変良い取り組みだと感じた。

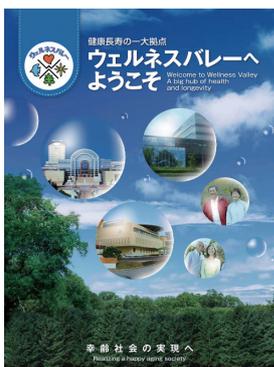
## 愛知県東浦町

### ウェルネスバレー構想

隣の大府市と一緒に2008年度に「ウェルネスバレー基本計画」を策定。「ウェルネス」は心身の積極的な健康活動を意味し、シリコンバレーにならえて「ウェルネスバレー」と命名された。

健康と長寿の一大拠点に発展することを目標として、病院などの施設整備を進めてきた。大府市とは交通のアクセスも良く、さまざまな施設を行き来することができるので、利用しやすいと感じた。

また、医療や福祉関係機関の現場のニーズを収集し、マッチングを行なう事業や健康寿命関連産業の企業誘致なども進めているとのことだった。





# メタサポキャンパス視察

令和7年12月1日(月) 愛媛県教育支援センター

小・中学校に登校しづらい児童生徒が、自宅から安心して学習や交流活動ができるオンラインの居場所。今年度県内では173人の不登校が報告され、小学生が増加傾向とのことである。3D画像でハイレベルな愛媛県版メタサポは、2023年7月からスタートし、学校へ通えるまでのスモールステップとして多様な学びを提供している。

- 平日の昼休みを除く9:00～16:00
- 好きな時間にメタバース(仮想空間)上でコミュニケーションがとれる。
- アバター(自分の分身となるキャラクター)は、服装、髪型など自由に設定。
- 最高80人が参加できる。
- 学校長の判断で出席扱い。
- 教員免許を持つ大学生が、キャンパスサポーター。



**学習活動(スタディ道場)**

キャンパスサポーターが、様々な教科のミニ授業(30分程度)を行う。終了後は、個別に質問等の時間を設けている。

「リアルな世界も仮想空間も全く同じ!」  
大切なのは、「人の優しさや温かさ」  
今の自分を認め、寄り添ってくれる大人の存在が  
子どもの自立への一歩につながります。